

**益田市グローバルリーダー養成事業**  
**“地域づくり” 情報発信プログラム 12月21日**

2月に海外研修（タイ王国訪問）を控えた11名が、SSH事業のルーブリック評価項目の1つ「**表現力・発信力**」をレベルアップするために、ミライツクルプログラム冬の陣（主催：益田市教育委員会社会教育課）の事業である「**食レポにチャレンジ!**」に参加しました。

ミライツクルプログラムでは、地域活性や社会活動にトライしたい高校生を対象に、各種分野で活躍する大人を講師に招いて、半日から1日かけてフィールドワークやワークショップを行っています。講師は職種も出身・経緯も様々です。大学生活へのビジョンが持てるよう現役大学生と対談したり、本格的なビジネス講座を受講したりすることができます。

この度参加したのは「**食レポにチャレンジ!～高校生の力で駅前のお店を活性化～**」です。ひとまるビジョンテレビアナウンサーの福島さんを講師に、駅周辺にある飲食店のメニューを紹介する番組を撮影してもらいました。この日収録された“高校生による食レポ”の様子は、実際にひとまるビジョンでも放送されました。

参加者の感想より

「いつもは地域活動としてSNSによる空港の情報発信をしているが、美味しさを表現する言葉がなかなか出てこなくて、文字で伝えるよりも難しかった!」

「これまで地域について友達と話すことがなかったので、地元の良さを考える機会となった。土曜補習の後で疲れていたけれど、お店の方の温かさに触れることができ元気が出た。」

「お店の方へのインタビュー、食レポ、写真撮影、書記に分かれて仕事を体験した。視聴者に伝わるよう店の外観や食べ物の食感などを、なるべく詳しく話すというコツを教わった。番組を作成する側を体験することは初めてで、職業経験としても大変面白かった。」

「駅前には地元市民でも知らない店が多くあると知った。高校生の視点で発信して、まず興味を持ってもらうのはいい方法だと思う。」

使う言語は英語になりますが、タイ王国でのディスカッションで、地域振興や研究に対する自分のビジョンを理解してもらうために役立つ技術を習得し、一歩前進しました。

